

# 第31回

# 旅行動向シンポジウム

コロナ禍における世界・日本の観光のいま  
ポストコロナ社会において注目したい観光の変化

9/21  
11:00 ~  
受付  
開始

日時：2021年10月28日（木）14:00～16:40

10月29日（金）14:00～17:00

会場：オンライン開催（YouTube 配信）

主催：公益財団法人日本交通公社

## ◆開催概要◆

2021年も新型コロナウイルス感染症の流行が続いていますが、諸外国ではワクチン接種を契機として急速に観光市場が動きつつあります。

今回のシンポジウムでは、当財団が継続的に実施している JTB 独自調査の結果などをもとに「コロナ禍における世界・日本の観光のいま」を解説します。さらに、中長期的な視点での社会や観光における変化に着目し、今年度から当財団が新たに取り組んでいる研究の中から、「ポストコロナ社会において注目したい観光の変化」に関する研究報告もあわせて行います。

## ◆プログラム

※プログラムはやむを得ず変更となる場合もございますので、ご了承ください。

### 1日目：10/28（木）

コロナ禍における世界・インバウンドの観光のいま

1. コロナ禍における世界の観光動向
2. コロナ禍におけるインバウンド市場の動向・意識

ポストコロナ社会において注目したい観光の変化1

3. 働き方と旅行のあり方
4. 誰もが楽しめる旅行のあり方

### 2日目：10/29（金）

コロナ禍における日本の観光のいま

1. コロナ禍における日本の観光動向
2. コロナ禍における日本人旅行者の動向・意識
3. 観光地が創る、安心・安全・楽しめる観光

ポストコロナ社会において注目したい観光の変化2

4. 脱炭素社会における観光地のあり方

総括

◆参加費： 無料

◆申込方法： 当財団 WEB サイト申込フォームよりお申し込みください。

申込受付は、9/21（火）11:00 より開始します。

<https://www.jtb.or.jp/publication-symposium/tourism-symposium/>

◆開催方法： オンライン開催（YouTube 配信）



※賛助会員の皆様は、シンポジウム終了後、約1ヶ月程度にかぎり事後視聴が可能です。

## プログラム詳細

### ■10月28日(木) 14:00-16:40

#### <コロナ禍における世界・インバウンドの観光のいま>

1. コロナ禍における世界の観光動向 【担当：社会・マネジメント室長／上席主任研究員 菅野 正洋】  
各国のコロナ感染の感染状況やワクチン接種率の推移、またそれに応じた各種規制の緩和の動向について解説します。
2. コロナ禍におけるインバウンド市場の動向・意識 【担当：主任研究員 柿島 あかね】  
コロナ禍における外国人旅行者の訪日旅行に対する意識について、「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査(2020年度 新型コロナ影響度 特別調査)」をもとに解説するとともに、市場が再開するまでの地方公共団体や事業者の取組のヒントもあわせて紹介します。

#### <ポストコロナ社会において注目したい観光の変化1>

3. 働き方と旅行のあり方 【担当：地域戦略室長／上席主任研究員 守屋 邦彦】  
今後の訪日市場においても大きな割合を占めるとされる韓国、中国、台湾の、コロナ禍による働き方の変化と旅行への影響について概説するとともに、台湾の有識者インタビュー結果を元に、今後のワーケーションの可能性について考えます。  
※インタビュー協力：天主教輔仁大学 民生学院／餐旅管理学系 特別研究教授 蘇 哲仁氏
4. 誰もが楽しめる旅行のあり方 【担当：上席主任研究員 相澤 美穂子、社会・マネジメント室長／上席主任研究員 菅野 正洋】  
社会における「多様性」への関心の高まりを受けて、ポストコロナ時代を迎える観光地・観光産業としても、顧客(旅行者)や産業(従業員)が内包する「多様性」について、理解・対応をさらに深めていくことが求められています。今年度、「多様性」の中の「慢性疾患」「性的マイノリティ」に注目して行っている当財団の研究から、その成果の一端を報告します。  
※インタビュー協力：株式会社エフネス 取締役 荒井 達也氏

### ■10月29日(金) 14:00-17:00

#### <コロナ禍における日本の観光のいま>

1. コロナ禍における日本の観光動向 【担当：社会・マネジメント室長／上席主任研究員 菅野 正洋】  
我が国のコロナ禍における社会的動向を振り返りつつ、国や地方自治体、地域の事業者の観光分野における対応状況について解説します。
2. コロナ禍における日本人旅行者の動向・意識 【担当：企画室長／上席主任研究員 五木田 玲子】  
コロナ禍における日本人旅行者の国内旅行の実態及び旅行意識について、「JTBF 旅行実態調査」「JTBF 旅行意識調査」をもとに解説するとともに、日本人旅行市場における変わらないこと・変わることを考えます。
3. 観光地が創る、安心・安全・楽しめる観光 【担当：活性化推進室長／上席主任研究員 中野 文彦、まちづくり室長／主任研究員 吉谷地 裕】  
コロナ禍にあって、官民一体となったコロナ対策で日本一安心な観光地を目指している栃木県那須塩原市、住民需要を高めながら新しい魅力づくりに挑戦している大分県津久見市における具体的な取組の紹介や意見交換を通して、コロナ禍・コロナ後の変化に対応する地域、特に観光協会が果たすべき役割について考えます。
  - ①導入
  - ②ゲスト講演  
一般社団法人那須塩原市観光局 局長 西須 紀昭氏  
津久見市観光協会 事務局長 紺田 猛氏
  - ③ゲストとの対談・質疑

#### <ポストコロナ社会において注目したい観光の変化2>

4. 脱炭素社会における観光地のあり方ーコロナ下で見つけた2030年の芽ー 【担当：環境計画室長／上席主任研究員 中島 泰】  
当財団では2050年の脱炭素社会の実現からバックキャストする視点での観光地のあり方を示すことを目標に、環境対応に係る国内外の最新の動向を把握してきました。その中から特徴的な事例を、世界で見つけた2030年の芽(ヨーロッパ/アメリカ/オセアニアからの報告)として紹介した上で、2030年の観光地のあり方について、仮説とキーワードを提示します。

総括【観光政策研究部長／主席研究員 山田雄一】